

第1回海津市総合計画審議会 議事要旨

日時 平成28年6月24日（金）
午前10時から
場所 海津市役所 4階 災害対策本部室

1. 開会
2. 委員の紹介及び委嘱状の交付
3. 市長あいさつ
4. 海津市第2次総合計画の諮問について
5. 海津市策定条例、審議会条例について
6. 議事
 - (1) 海津市第2次総合計画の策定について
 - (2) その他
7. 閉会

委員の紹介及び委嘱状の交付

委員名簿・座席表の配布にて委員紹介とし、前任者との交代により新たに委員になった小野正行委員、森清実委員について委嘱状を交付した。

市長あいさつ

これまで、海津市総合開発計画に基づき「協働が生みだす 魅力あふれるまち 海津」の実現を目指して、各施策を推進してきた。海津市総合開発計画が 28 年度で終了することから、海津市第 2 次総合計画を平成 29 年度から 10 年間の新たなまちづくりの指針として策定する。

近年では、本格的な人口減少、少子高齢化の到来、不安定な経済環境、住民ニーズの多様化等、海津市を取り巻く社会情勢は大きく変化している。

また、海津市では平成 27 年 10 月に海津市創生総合戦略及び海津市人口ビジョンを策定し、平成 28 年 2 月には総合計画策定に向けた市民意識調査を実施・とりまとめている。

こうした潮流を踏まえつつ、海津市第 2 次総合計画は、総合的かつ計画的なまちづくりを推進するために、市民の協働のもと海津市の課題、市民のニーズ、国や県の動向を認識・把握し、策定に取り組みたいと考えている。

海津市第 2 次総合計画の諮問について

市長より服部寿会長へ海津市第 2 次総合計画の策定について諮問書を手渡した。

海津市総合計画策定条例、審議会条例について

資料にてご確認ください。

議事

海津市第 2 次総合計画の策定について

議事「海津市第 2 次総合計画の策定について」を事務局より説明した。

以下に、各委員から事務局への質問やまちづくりに対する想いについて整理する。

- | | | | | |
|---|---|---|---|--|
| 委 | 員 | ： | 昨年度実施した市民アンケートについて、回収率が 50%を下回っている。有効回答数が何%あれば、アンケートとして有効か。 | |
| 事 | 務 | 局 | ： | 他市町が同様の計画を策定する際に実施するアンケートの平均回収率は 30%程度である。海津市が昨年度実施した市民アンケートの回収率は 43.9%であり、他市町の平均回収率より高く、アンケートとして問題はないと思われる。 |
| 委 | 員 | ： | 昨年度実施した市民アンケートは、回答した世代に偏りがあるのではないか。 | |
| 事 | 務 | 局 | ： | 回答者の世代に偏りはあり、高齢世代になるほど回収率が高くなっている。若い世代の回収率が低いので、高校生アンケートを実施し補完している。 |
| 委 | 員 | ： | 若い世代の意見を収集するために、アンケートを再度実施することは考えていないのか。 | |
| 事 | 務 | 局 | ： | 再実施の予定はない。また、再度アンケートを実施しても傾向は変わらない。なお、昨年度実施したアンケートから 20 代～50 代の世代の結果を抜き出し、次回の資料として提示するので、その結果を確認していただきたい。 |

- 委員：人口減少社会の中で、輪之内町の人口は減少せずに増加していると聞いた。そういった市町の分析をして、参考にしてほしい。
- 事務局：輪之内町も以前は増加していたが、現在は落ち着いてきている。増加していた背景として、大垣市へのアクセスが良いことや働く場所が多いこと、ほ場整備前のところに住宅等が建てやすい等の理由によるものだと考えられる。
- 委員：せっかくの機会なので、委員それぞれの立場からの意見を頂戴したいがどうか。
- 事務局：審議会では、皆様からの活発な意見を求めている。是非お願いしたい。
- 委員：人口減少が課題と感じており、近所に住む若者が大垣市等へ転出している。理由として、就職先が海津市にないことが原因であり、工業誘致等の施策が必要と考えている。また、高校生まで医療費無料など医療費の軽減等、若者が転入・定住したいと感じるような魅力的な施策の実施や若者の声を聞いて若者の集まる場所をつくっていくことが大切だと感じている。
- 委員：少子化問題の原因として就職先がないことが挙げられる。海津市にある水田は安価であり、水田を活用して工業誘致や宅地分譲等に努め、人口減少を抑えることが必要だと考える。
- 委員：海津市の農地は、他市町と比べても非常に整備されており、農村環境も良い。しかし、農業の担い手の平均年齢は 70 歳前後であり深刻となってる。昨年から営農組合が徐々に法人化しており、若い担い手が加入してきている。そういった若い担い手に対して、海津市独自の支援をしてほしい。
- 委員：現在、農業の若い担い手に対しての支援はあるが、条件が厳しく実際に支援を受けている人は少数である。
- 委員：高校生アンケートは非常に有効だと感じ、若い方の意見をどう反映していくかを考える必要がある。また、国や県の施策を受けて計画や施策を展開していくことが市町の発展につながると考えている。
- 委員：若い所帯をもつ人を海津市に呼び込むために、目玉となる施策が必要である。例えば、子どもの医療・保育、住宅手当等、重点的に支援するものを定め、西濃で一番は海津市と思われるようになってほしい。
- 委員：大垣市でも同じような状況にある。高校生が海津市外へ進学したとしても最終的に海津市に帰ってきたくするような施策が必要だと考える。また、買い物や遊びに気軽に行けるように公共交通機関をしっかりと整備する等、若い方が住みやすいまちづくりが重要だと感じている。

- 委員：生涯学習の面でも、公共交通を改善していくことが重要と考えている。また、障がいのある子ども達に居場所がないことや福祉サービスのないこと等の問題がある。現在、海津市発達支援センター等の整備が少しずつ進んでいるが、さらなる職員の充実等の福祉施策を検討してほしい。
- 委員：総合計画の施策を最初に検討する実務担当者について、総花的に協議するのではなく、共通の意識を持って協議してほしい。また、ヒアリング等をされる際には現場で活躍されている方の意見を聞いて計画に反映してほしい。
- 委員：人口減少は大きな問題である。人口減少に伴って消防団員の減少も見られており、防災力が低下することが見込まれる。若い世帯が転入したくなるような魅力あるまちを目指すために、若い方の意見を取り込んでほしい。
- 委員：海津市の発展のためにも、この審議会にも若い方に参加していただきたい。海津市の北部は高速道路のインターや新幹線の駅が近く便が良いので、積極的に工業誘致をしてほしいと感じている。
- 委員：海津市は長良川サービスセンターのレガッタコースが有名であるが、大会があっても一般市民の参加人数が少ない。レガッタを通して自治会をあげて市民同士の交流を図ってほしい。
- 委員：総合計画では、前計画を評価し、ニーズや課題を把握することはもちろん大切である。さらに、市として重点を置く施策は何かということを策定委員会等でしっかり検討することが大切である。

第2回審議会日程(予定)

第2回審議会は7月26日（火）10：00からを予定している。

以上

【会議の様子】

